

平成24年度統括DMAT研修プログラム

資料1.1

2013/2/14~2/15

月日	時 間	プ ロ グ ラ ム	場 所
第 2 月 15 日 (金)	8:30 ~ 9:20 50分	1 1. 机上演習「DMATにおける各本部の役割3：DMAT・SCU本部」 ※ 担当：兵庫県災害医療センター 中山 伸一／前橋赤十字病院 中村 光伸 近森病院 井原 則之	看護学校2階体育館
	9:20 ~ 10:10 50分	1 2. 机上演習「DMATにおける各本部の役割4：DMAT域外拠点本部」 ※ 担当：名古屋掖済会病院 北川 喜己／山形県立中央病院 森野 一真／ 札幌医科大学 丹野 克俊	
	10:10 ~ 10:20 10分	休憩・席替え	
	10:20 ~ 11:40 80分	1 3. 講義「事例からの教訓3：東日本大震災」 ※ 担当：／兵庫県災害医療センター 中山 伸一／名古屋掖済会病院 北川 喜己／ 山形県立中央病院 森野 一真	
	11:40 ~ 12:30 50分	昼食・席替え	
	12:30 ~ 14:00 90分	講義 1 4 「広域災害・演習」 (1ブース 30分) A DMAT活動拠点本部 I ※ 担当：新潟市民病院 熊谷 謙 / 回生病院 関 啓輔 B DMAT活動拠点本部 II ※ 担当：東北大学病院 山内 聡 / 奈良県立医科大学附属病院 畑 倫明 C 地域医療搬送調整・病院避難 ※ 担当：藤沢市民病院 阿南 英明 / 前橋赤十字病院 中村 光伸 D DMAT・SCU本部 ※ 担当：近森病院 井原 則之 / 兵庫県災害医療センター 中山 伸一 E DMAT域外拠点本部 ※ 担当：鳥取大学 本間 正人 / 札幌医科大学 丹野 克俊	
	14:00 ~ 14:10 10分	休憩	
	14:10 ~ 15:10 60分	講義 1 4 「広域災害・演習」 (1ブース 30分)	
	15:10 ~ 15:20 10分	休憩・席替え	
	15:20 ~ 15:50 30分	1 5. 机上演習「組織間連携のポイント」 ※担当：鳥取大学 本間 正人	
	15:50 ~ 16:40 50分	1 6. 机上演習「地方ブロックのあり方と課題、訓練企画の実際」 ※ 担当：山形県立救命救急センター 森野 一真	
	16:40 ~ 16:50 10分	閉会式	

平成24年度統括DMAT登録者技能維持研修プログラム

資料1.2

2012/7/23～7/24

月日	時間	プログラム	場所
第 1 日 7 月 23 日 （ 月 ）	10:00 ～ 10:10 10分	オリエンテーション 開会式	地域医療研修センター 外来棟4階
	10:10 ～ 10:20 10分	1. 講義「本研修の意義」 ※ 担当：山形県立救命救急センター 森野 一真	
	10:20 ～ 10:40 20分	2. 講義「DMAT本部活動」 ※ 担当：国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎	
	10:40 ～ 10:50 10分	休憩	
	10:50 ～ 12:10 80分	3. 実習「EMIS（DMAT管理及びMATTS）」 ※ 担当：兵庫県災害医療センター 中山 伸一／国立病院機構西群馬病院 楠 孝司	
	12:10 ～ 13:00 50分	昼食	
	13:00 ～ 13:40 40分	4. 講義「東日本大震災におけるDMAT活動と今後の対応」 ※ 担当：国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎	地域医療研修センター 外来棟4階
	13:40 ～ 13:50 10分	席替え	
	13:50 ～ 14:50 60分	5. 机上演習「DMATにおける各本部の役割1：DMAT活動拠点本部」 ※ 担当：新潟市民病院 熊谷 謙／東北大学病院 山内 聡 総合回生病院 関 啓輔／熊本赤十字病院 井 清司	
	14:50 ～ 14:55 5分	休憩	
	14:55 ～ 15:55 60分	6. 机上演習「DMATにおける各本部の役割2：DMAT都道府県調整本部」 ※ 担当：国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎／国立大学法人鳥取大学 本間 正人／ 福島県立医科大学 島田 二郎／岩手県立中部病院 眞瀬 智彦	
	15:55 ～ 16:05 10分	休憩・席替え	
	16:05 ～ 17:15 70分	7. 講義「事例からの教訓1：中越沖地震」 ※ 担当：／新潟市民病院 熊谷 謙／新潟県厚生連村上総合病院 林 達彦 国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎	
	17:15 ～ 17:25 10分	休憩	
17:25 ～ 19:00 95分	8. 講義「事例からの教訓2：東日本大震災」 ※ 担当：／新潟市民病院 熊谷 謙／東北大学病院 山内 聡 横浜労災病院 中森 知毅／国立病院機構災害医療センター 近藤 久禎		
第 2 日 7 月 24 日 （ 火 ）	9:00 ～ 9:50 50分	9. 机上演習「DMATにおける各本部の役割3：DMAT・SCU本部」 ※ 担当：兵庫県災害医療センター 中山 伸一 前橋赤十字病院 中村 光伸	地域医療研修センター 外来棟4階
	9:50 ～ 10:40 50分	10. 机上演習「DMATにおける各本部の役割4：DMAT域外拠点本部」 ※ 担当：名古屋掖済会病院 北川 喜己／山形県立中央病院 森野 一真／ 前橋赤十字病院 中野 実／	
	10:40 ～ 10:50 10分	休憩・席替え	
	10:50 ～ 12:10 80分	11. 講義「事例からの教訓3：東日本大震災」 ※ 担当：／兵庫県災害医療センター 中山 伸一／名古屋掖済会病院 北川 喜己／ 山形県立中央病院 森野 一真	
	12:10 ～ 13:00 50分	昼食・席替え	
	13:00 ～ 15:00 120分	12. 実習「本部運営実習」 ※ 担当：東北大学病院 山内 聡／新潟市民病院 熊谷 謙	地域医療研修センター 第2会議室・講師控室
	15:00 ～ 15:10 10分	休憩・席替え	
	15:10 ～ 15:40 30分	13. 机上演習「組織間連携のポイント」 ※ 担当：東京医科歯科大学 大友 康裕	地域医療研修センター 外来棟4階
	15:40 ～ 16:40 60分	14. 机上演習「地方ブロックのあり方と課題、訓練企画の実際」 ※ 担当：山形県立救命救急センター 森野 一真	
	16:40 ～ 17:00 10分	閉会式	

■平成24年度 DMA T 訓練実績

ブロック	幹事県 (開催地)	開催日程	参加者数 (DMAT登録者)
北海道	北海道	平成24年9月1日 (土) ~ 平成24年9月2日 (日)	83
東北	新潟県	平成24年10月6日 (土) ~ 平成24年10月7日 (日)	289
関東	茨城県	平成24年11月9日 (金) 平成24年11月10日 (土)	265
中部	石川県	平成25年3月2日 (土) ~ 平成25年3月3日 (日)	276
近畿	京都府	平成25年1月27日 (日)	218
近畿	兵庫県	平成24年10月28日 (日)	172
中国	岡山県	平成24年11月3日 (土) 平成24年11月4日 (日)	171
四国	徳島県	平成25年2月23日 (土) ~ 平成25年2月24日 (日)	141
九州・沖縄	熊本県	平成24年11月17日 (土) ~ 平成24年11月18日 (日)	203

1818

DMATブロック訓練登録フォーム【平成24年度北海道ブロック訓練】

- ・ 目的
模擬訓練を通してDMAT活動の理解を深めること
- ・ 日時
平成24年9月1日、2日
- ・ 場所・会場
北海道庁、丘珠駐屯地、旭川駐屯地、千歳基地、礼文空港
旭川市総合防災センター、旭川赤十字病院、上川総合振興局
- ・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数
 - 参加機関 機関（北海道、陸上自衛隊、航空自衛隊、DMAT指定医療機関（札幌医大、北海道大学、旭川医大、旭川赤十字病院、北見赤十字病院、北海道医療センター、市立札幌病院、手稲溪仁会病院、王子総合病院、市立室蘭総合病院、日鋼記念病院、市立函館病院、市立釧路総合病院））
 - 参加人数 83人
 - 模擬患者数 1日目18人、2日目80名
 - コントローラー数 14人（うち8名はプレーヤー兼務）
- ・ 参加車両、航空機
 - 病院緊急車両 6台
 - ドクターヘリ 0台
 - 消防機関救急車 0台
 - 消防機関その他車両 2台（自衛隊搬送車）
 - 航空機、ヘリコプター 4機（所属 陸自3機、空自1機）
- ・ 訓練想定
地震災害（1日目と2日目は別の地震想定）
- ・ 実施項目（実施した訓練にチェックしてください）
 - 参集訓練
 - 現場活動（救護所）
 - 現場活動（救助現場・CSM）
 - 病院支援
 - 域内搬送
 - SCU
 - 広域医療搬送機内活動
 - 本部（調整本部）
 - 本部（活動拠点本部）
 - 本部（SCU本部）
 - 本部（域外拠点本部）
 - EMIS
 - その他（ ）

DMA Tブロック訓練登録フォーム【平成24年度東北ブロック訓練】

- ・ 目的

新潟県下越地域において発生した直下型地震に伴う大規模災害を想定し、東北ブロック各県DMA Tと関係機関との緊密な連携により被災地における緊急治療、病院支援、広域医療搬送等を迅速に行うことができるよう実践的訓練を実施する。

- ・ 日時

平成24年10月6日(土) 8時～16時

平成24年10月7日(日) 9時30分～11時30分

※ 1日目は実働訓練、2日目は研修会(訓練総括含む)

- ・ 場所・会場

別紙概要のとおり

- ・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数

- 参加機関 13機関(新潟市民病院、済生会新潟第二病院、下越病院、
県立新発田病院(災害拠点病院)、
新潟大学医歯学総合病院(新潟県ドクターヘリ基地病院)、
新潟市消防局、新発田地域広域事務組合消防本部、
新潟県消防防災航空隊、第九管区海上保安本部、
航空自衛隊、東京航空局 新潟空港事務所
新潟医療技術専門学校、新潟県)
- 参加人数 不明
- 模擬患者数 18人
- コントローラー数 17人

- ・ 参加車両、航空機

- 病院緊急車両 23台
- ドクターヘリ 1台
- 消防機関救急車 3台
- 消防機関その他車両 不明
- 航空機、ヘリコプター 5機(所属 新潟県消防防災ヘリ、
海上保安庁ヘリ、航空自衛隊UH-60J、
CH-47J)
- 海上保安庁巡視船 1隻

- 訓練想定
 - 平成24年10月6日午前7時30分頃、栗島沖にてマグニチュード7.5の地震が発生し、新潟県下越地域で最大震度6強を観測。
 - この地震により、建物倒壊や土砂崩れによる人的被害、火災、電気、ガス、水道等のライフライン施設に甚大な被害が多発しているほか、火災や鉄道・道路・橋梁等の破壊寸断など甚大な被害が発生。
 - この地震の発生に伴い、津波が沿岸部に到達し、海上に漂流者が発生。

- 実施項目（実施した訓練にチェックしてください）
 - 参集訓練
 - 現場活動（救護所）
 - 現場活動（救助現場・CSM）
 - 病院支援
 - 域内搬送
 - SCU
 - 広域医療搬送機内活動
 - 本部（調整本部）
 - 本部（活動拠点本部）
 - 本部（SCU本部）
 - 本部（域外拠点本部）
 - EMIS
 - その他（海上医療救護訓練）

DMA Tブロック訓練登録フォーム【平成24年度関東ブロック訓練】

- ・ 目的
茨城県沖で発生した地震に伴う日立地域における大規模災害を想定し、関東ブロックの各都県DMA Tや関係機関との緊密な連携により、被災地における緊急治療、病院支援及び広域医療搬送等を迅速に行うことができるよう実践的訓練を実施する。
- ・ 日時
平成24年11月 9日（金） 9時30分～16時
平成24年11月10日（土） 8時～13時
※ 1日目は参集訓練がメイン。2日目は各会場において実働訓練実施予定。
- ・ 場所・会場
【平成24年11月 9日（金）】
＜参集場所＞
 - ・ 高速道路守谷パーキングエリア及び茨城県立中央病院【平成24年11月10日（土）】
＜DMA T調整本部＞
 - ・ 茨城県庁（6F災害対策室）＜現場活動＞
 - ・ 茨城県日立市「日立港都市再開発用地敷」及び仮想病院＜SCU運営＞
 - ・ 陸上自衛隊勝田駐屯地＜病院支援、域内搬送＞
 - ・ 県内の災害拠点病院等
 - ・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数
 - 参加機関 約60機関
 - 参加人数 約300人
 - 模擬患者数 約50人
 - コントローラー数 22人
- ・ 参加車両、航空機
 - 病院緊急車両 約60台（*うち救急車タイプ20台）
 - ドクターヘリ 2機
 - 消防機関救急車 約10台
 - 消防機関その他車両 約2台
 - 航空機、ヘリコプター 約13機（所属 本県及び他県）

・ 訓練想定

平成24年11月9日（金）9時半ごろ、茨城県沖を震源とするマグニチュード7.7の地震が発生。日立市では震度7を観測し、水戸地方気象台から大津波警報が発表された。（※11月10日日立会場では総合防災訓練に従う。）

この地震により、市内各所で家屋の倒壊や地震動による車両の多重衝突事故及び急傾斜地の崩壊等が発生し、多数の傷病者が出ているほか、道路、鉄道など交通網をはじめ電気、電話、水道などのライフラインに壊滅的な被害があり、多数の避難者が発生している。

茨城県では、DMAT調整本部を設置し、日本DMAT事務局や関東ブロックのDMAT指定医療機関に対し、EMISによるDMAT派遣要請（参集含む。）を行うとともに、関係機関と協力して、迅速・的確な医療救護活動や広域医療搬送などを行う。

・ 実施項目 （実施した訓練にチェックしてください）

- 参集訓練
- 現場活動（救護所）
- 現場活動（救助現場・CSM）
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部（調整本部）
- 本部（活動拠点本部）
- 本部（SCU本部）
- 本部（域外拠点本部）
- EMIS
- その他（ ）

DMA Tブロック訓練登録フォーム【平成24年度中部ブロック訓練】

- ・ 目的

大規模災害発生に際し、中部ブロック各県DMA Tが緊密な連携を図り、被災地における病院支援、広域医療搬送、救急医療等を迅速に実行できるよう実践的訓練を行う。

- ・ 日時

平成25年3月2日（土）9：00～18：30

平成25年3月3日（日）8：30～12：00

- ・ 場所・会場

金沢医科大学、金沢医科大学病院、県立中央病院、小松空港

- ・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数

- 参加機関 61機関（DMA T隊員所属機関数）

- 参加人数 284人

- 模擬患者数 50人

- コントローラー数 17人

- ・ 参加車両、航空機

- 病院緊急車両 台

- ドクターヘリ 台

- 消防機関救急車 1台

- 消防機関その他車両 台

- 航空機、ヘリコプター 2機（所属：航空自衛隊、石川県）

- ・ 訓練想定

金沢市の森本富樫断層を震源とする M7.2 の内陸型地震が発生した。金沢市内の震度は最大6強、被害家屋は約3万棟、死傷者数約5千人の被害が発生しているとみられている。この地震で北陸自動車道上下森本-白山IC間、金沢市内の国道8号線および山側環状道路は通行不能となり、救急車等での搬送が不可能となったため、石川県は、県消防防災航空隊へ広域搬送の協力要請および航空自衛隊へ災害派遣要請をした。

・ 実施項目 （実施した訓練にチェックしてください）

- 参集訓練
- 現場活動（救護所）
- 現場活動（救助現場・CSM）
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部（調整本部）
- 本部（活動拠点本部）
- 本部（SCU本部）
- 本部（域外拠点本部）
- EMIS
- その他（ ）

DMA Tブロック訓練登録フォーム【平成24年度近畿ブロック訓練①】

- ・ 目的

災害時における防災関係機関の相互連携及び広域的医療体制の充実・強化を図る。

- ・ 日時

平成24年10月28日（日）9時から12時30分まで

- ・ 場所・会場

神戸空港島（神戸市中央区神戸空港）及び周辺海域

- ・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数

- 参加機関 63機関（51医療機関・兵庫JMAT・自衛隊（陸海空）・海上保安庁・兵庫県警・神戸市消防局・緊急消防援助隊ほか）
- 参加人数 667人（うち医療関係者278人）
- 模擬患者数 145人
- コントローラー数 37人

- ・ 参加車両、航空機

- 病院緊急車両 4台
- ドクターヘリ 0台
- 消防機関救急車 2台
- 消防機関その他車両 92台
- 航空機、ヘリコプター 12機
（所属 各消防航空隊、海上自衛隊、航空自衛隊、海上保安庁）
- 艦艇 7艇

- ・ 訓練想定

潮岬沖を震源とするマグニチュード9の海溝型地震が発生し、洲本市、南あわじ市等で震度7、神戸市内で震度6弱を観測した。各地で甚大な被害が生じており、多数の死傷者が発生しているほか、一部の医療機関は損壊し、使用できない状況である。

・ 実施項目 （実施した訓練にチェックしてください）

- 参集訓練
- 現場活動（救護所）
- 現場活動（救助現場・CSM）
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部（調整本部）
- 本部（活動拠点本部）
- 本部（SCU本部）
- 本部（域外拠点本部）
- EMIS
- その他（ ）

DMATブロック訓練登録フォーム【平成24年度近畿ブロック訓練②】

- ・ 目的

京都市域における大規模地震を想定し、災害発生直後において、DMATが、消防機関・陸上自衛隊をはじめとする関係機関との連携・協力のもとで、より迅速な医療救護活動が行なえるよう、専門的な知識の習得と技術の維持・向上を目的とした訓練を実施する。

- ・ 日時 平成25年1月27日（日）9時30分から16時30分

- ・ 場所・会場 京都市消防活動総合センター

京都第二赤十字病院

国立病院機構京都医療センター

第二岡本総合病院

蘇生会総合病院

陸上自衛隊宇治駐屯地

名神高速道路草津パーキングエリア（下り）

- ・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数

- 参加機関 64 機関（DMAT、医療機関、消防機関、陸上自衛隊等）

- 参加人数 416 人（下記コントローラー含む）

- 模擬患者数 118 人（家族役4名含む）、訓練人形7体

- コントローラー数 41 人

- ・ 参加車両、航空機

- 病院緊急車両 24 台

- ドクターヘリ 0 台

- 消防機関救急車 2 台

- 消防機関その他車両 4 台

- 航空機、ヘリコプター 0 機（所属 — ）

- ・ 訓練想定

京都市中南部地域を中心とした震度7、マグニチュード7.5の直下型地震
建物全壊14万棟以上、死傷者7万人超

主要幹線道路一部通行不可、京都市市域停電、断水、ガス停止など

発災後、京都府は災害対策本部を立ち上げ、各道府県へDMATの派遣を要請
派遣要請を受けた各道府県DMATが各参集拠点へ参集し、医療支援活動実施

- ・ 実施項目 （実施した訓練にチェックしてください）
 - 参集訓練 ■
 - 現場活動（救護所） ■
 - 現場活動（救助現場・CSM） ■
 - 病院支援 ■
 - 域内搬送 ■
 - SCU ■
 - 広域医療搬送機内活動 □
 - 本部（調整本部） ■
 - 本部（活動拠点本部） ■
 - 本部（SCU本部） ■
 - 本部（域外拠点本部） ■
 - EMIS ■
 - その他（老健施設患者の避難訓練、タクシー協会との連携訓練）

DMATブロック訓練登録フォーム【平成24年度中国ブロック訓練】

ブロック名	中国ブロック
幹事都道府県名	岡山県
目的	岡山県南部を震源とした大規模地震を想定し、大規模災害等の発生時に迅速・効果的な広域医療体制が確保できるよう、中国地区5県のDMAT及び消防等の防災関係機関と合同して災害医療訓練を実施し、緊密な連携強化を図ることを目的とする。
日時	①平成24年11月3日(土) 8:30~15:00 ②平成24年11月4日(日) 9:00~12:30
場所・会場	①DMAT県調整本部：岡山県庁 病院支援 (参集拠点・病院支援)：岡山赤十字病院、岡山済生会総合病院、川崎医科大学附属病院 (近隣病院の支援)：岡山大学病院、岡山労災病院、児島中央病院、水島中央病院、玉島中央病院 SCU：岡山空港 域内ヘリ搬送(離発着場)：岡山自動車道下り線高梁SA、倉敷市真備町川辺(川辺ふれあい公園)、岡山赤十字病院 ②ロジスティックス訓練・意見交換：ピュアリティまきび(岡山市北区)
参加機関・参加人数	・参加機関 46機関 (中国ブロック DMAT31 機関、ブロック外 DMAT5 機関(インストラクター派遣)、岡山大学病院、岡山労災病院、児島中央病院、水島中央病院、玉島中央病院、第六管区海上保安本部(広島航空基地、水島海上保安部)、岡山市消防局、倉敷市消防局、NEXCO 西日本岡山高速道路事務所、岡山県庁(消防防災航空隊、岡山空港管理事務所、保健福祉部)) ・参加人数 183人(DMAT 隊員のみ) ・模擬患者数 28人 ・コントローラー数 20人
参加車両・航空機	・病院緊急車両 38台(DMAT 参集訓練使用分も含む) ・ドクターヘリ 1台 ・消防機関救急車 2台(岡山市消防局、倉敷市消防局) ・消防機関その他車両 2台(同上：ヘリコプター離着陸地上支援用) ・航空機、ヘリコプター 3機(第六管区海上保安本部、岡山市消防局、岡山県)
訓練想定	岡山県南部を震源とする直下型地震が発生。(津波は発生せず) 各地で家屋や建築物が倒壊し、要救助者が多数発生。岡山県はおかやまDMATを派遣要請するとともに、中国地区各県(鳥取県、島根県、広島県、山口県)にDM

	<p>A T派遣を要請。</p> <p>岡山県庁に県災害医療本部及びDMAT県調整本部を設置して災害医療情報を提供し、それに基づき各DMATは参集病院にて活動を行う。そして、人的被害がさらに拡大し、広域医療搬送拠点を設置する。</p>			
実施項目	参集訓練	○	本部（調整本部）	○
	現場活動（救護所）		本部（活動拠点本部）	○
	現場活動（救助現場、CSM）		本部（SCU本部）	○
	病院支援	○	本部（域外拠点本部）	
	域内搬送	○	EMIS	○
	SCU	○	その他：ロジスティックス訓練、 実働訓練に係る意見交換	
	広域医療搬送機内活動			

DMA Tブロック訓練登録フォーム【平成24年度四国ブロック訓練】

・ 目的

大規模災害の発生に備え、四国4県の災害派遣医療チーム（DMAT）と県内医療機関や消防など関係機関と連携した災害医療訓練を実施することにより、災害時における適切な医療の提供及び四国4県の更なる連携を図る。

・ 日時

平成25年2月23日（土） 13：00～17：00

平成25年2月24日（日） 9：30～12：30

・ 場所・会場

西部総合県民局美馬庁舎（県災害対策本部）

徳島阿波おどり空港（SCU）

災害拠点病院（県立中央病院、麻植協同病院、海部病院、三好病院）

災害医療支援病院（田岡病院、ホウエツ病院）

・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数

- 参加機関 50機関（DMAT、医療機関、消防機関、自衛隊等）
- 参加人数 約200人
- 模擬患者数 63人
- コントローラー数 8人（香川大学医学部付属病院 平尾先生含む）

・ 参加車両、航空機

- 病院緊急車両 0台
- ドクターヘリ 1台
- 消防機関救急車 3台
- 消防機関その他車両 6台
- 航空機、ヘリコプター 5機（所属 消防防災ヘリ、陸自14飛行隊、海自72航空隊、海自24航空隊、災害調査ヘリ）※ドクヘリ除く。

・ 訓練想定

平成25年2月23日（土）9時00分、南海トラフを震源とする「M9」の地震が発生

県内各地で、震度7、震度6強の揺れを観測、県東部及び南部の沿岸部に大津波が襲来し、多数の傷病者が発生

県南部の災害拠点病院等が被災し、医療機能が停止したことから、重症患者等の県西部や県外の災害拠点病院等への搬送が必要な状況

徳島県庁舎は、地震・津波の影響により使用が困難となり、代替拠点の確保が必要な状況

・ 実施項目 （実施した訓練にチェックしてください）

- 参集訓練
- 現場活動（救護所）
- 現場活動（救助現場・CSM）
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部（調整本部）
- 本部（活動拠点本部）
- 本部（SCU本部）
- 本部（域外拠点本部）
- EMIS
- その他（徳島県災害時情報共有システムの使用、路線バス・高速バス・福祉タクシーを使用した患者搬送、災害調査ヘリによる病院調査）

DMA Tブロック訓練登録フォーム【平成24年度九州・沖縄ブロック訓練】

- ・ 目的：九州・沖縄ブロックのDMA T隊員の技術の向上、連携等を図ることを目的とする。
- ・ 日時：平成24年11月17日（土）8:00～17:00
11月18日（日）8:00～12:30
- ・ 場所・会場：11/17（土）◆災害対策本部訓練→熊本県庁
◆参集訓練→各病院から熊本赤十字病院まで
◆図上訓練→熊本赤十字病院
11/18（日）◆実動訓練→球磨川河川敷運動公園
(熊本県八代市)
- ・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数
 - 参加機関 45 機関（医療機関のみ計上）
 - 参加人数 196 人（医療機関のみ計上）
 - 模擬患者数 111 人（ダミー人形含む）
 - コントローラー数 11 人
- ・ 参加車両、航空機
 - 病院緊急車両 0 台（訓練で使用した車両数）
 - ドクターヘリ 0 台
 - 消防機関救急車 41 台
 - 消防機関その他車両 (不明) 台
 - 航空機、ヘリコプター 0 機（DMAT 関係で使用した機体数）
- ・ 訓練想定
熊本県八代市を震源地とするマグニチュード7.0の地震が発生し、八代市内で震度6強を観測。人的被害、建物等被害が甚大

・ 実施項目 （実施した訓練にチェックしてください）

- 参集訓練
- 現場活動（救護所）
- 現場活動（救助現場・CSM）
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部（調整本部）
- 本部（活動拠点本部）
- 本部（SCU本部）
- 本部（域外拠点本部）
- EMIS
- その他（ ）

・ 訓練参加者リスト（別添1）

・ 参考資料：以下のものがあれば、ご登録ください。

- 訓練時系列
- 患者設定一覧
- 写真